

愛

「愛」の美德は、「私には愛情があります。私は思いやりのある行動、優しい言葉によって愛情を示します。私は自分が接して欲しいように他の人に接します。」ということです。その思いが、「生きる力」をつけるための「学び」ではもっとも大切となります。そこで、「他人を愛し、自分を愛し、故郷を愛す」ということを考えました。

まず、「他人を愛する」ということは、相手の身になって考え、相手の感情にいたわりを示すことです。例えば、微笑みや感じよい会話、思いやりのある行動によってそれを表現することができます。また、自分の持っているもの、時間などを相手に分かち合うことです。例えば、ボランティア的活動に積極的に係わろうとすればいいのです。

次に、「自分を愛する」ということは、自分をみつめ、自分を知ることです。例えば、色々な生活の記録から、心と体のバランスを保ち、成長している自分を見つけられます。また、自分の無限に秘めた可能性に気づくことです。例えば、学び方や考え方を身につけ、活用力を高めていくことで、それを知ることができます。

そして、「故郷を愛する」ということは、自分の周囲の環境に関心を持つということです。例えば、自分を育ててくれた故郷が、どのような環境なのか探求してみるのです。また、その故郷に恩送りをするには、自分が将来に何ができるのかを考えることです。例えば、憧れる自分のイメージを持ちながら夢見っていくことです。

自分が周りから大切に思われると感じたら、人は幸せに思います。自分が愛情を示すと、周りの人は大切な存在であると感じられ、より優しく、より親切になります。そうして、愛は広がっていくのです。